

堺市立三国丘中学校 第76回卒業証書授与式

PTA 会長 ご祝辞

三国丘中学校 PTA 会長の淵上猛志です。

まずは卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

私事ですが、最近、赤ちゃんを抱っこする機会が度々ありまして、その度に思うのです。うちの子にもこんな時があったなど。

忘れもしない 15 年前のあの日、あの瞬間。

我が子がこの世に誕生した日、初めてその我が子をこの手に抱いた瞬間。私だけでなく、きっと、嫌間違いなく、皆さんの後ろにいるすべての保護者、お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんが覚えているはずです。

どれほど可愛らしく、愛おしく思えたことでしょう。嬉しくて、言葉にできませんでした。

あれから 15 年あまり。当時ほどの可愛らしさはなくなったかもしれませんが、皆さんは立派に、頼もしくなりました。ここまで成長してくれて本当にありがとうございます。我が子の成長こそが、保護者にとっての最高の喜びです。きっと、これからもそうです。

これまで、私たち保護者は、皆さんの「人生」というマラソンを一緒になって走ってきました。

いや、むしろ最初は、私たち自身がランナーとなって皆さんを抱えて走っていました。必死でした。

その後、自分で歩き、走れるようになった皆さんの手を引いて走り、

その手も放せるようになった後も、ペースメーカーのように前を走って先導したり、あるいは後ろから背中を押したりしながら走ってきました。

そうしていつしか。中学校に入ったくらいからでしょうか。私たちは気づけば先導することなくなり、だんだんと走りが力強くなっていく皆さんの、その横をなんとか頑張って並走し、時にペースが上がる皆さんに置いていかれそうになりながら、今日の日を迎えました。

これから私たち保護者は先導者でも、伴走者でもなく、走る位置すらも変え、沿道の観戦者、応援者へと変わっていきます。マラソン中継でいますよね、沿道ではしゃぎながら旗を振って走っている人、あんな感じです。

そして皆さんもまた、ランナーとして、みんなで一緒に決まったコースを走るのではなく、それぞれ自分でコースを選びながら、ゴールや、給水所を設定しながら、走っていくのです。私たちは、皆さんがどんなコースを走ろうが、その沿道を一所懸命走って、応援しつつつけていきます。「がんばれ！」と大きな声で叫んだり、「休もうか」と声をかけ水を差し出したり、時に思い余って皆さんのペースを乱してしまう時もあるかもしれませんが、間違いなく、誰よりも皆さんのことを想いながら、これからも皆さんを応援し続けます。

15年前、赤ちゃんだった皆さんを抱いた時、この子はどんな人生を歩いていくんだろうと胸を膨らませながら想像しました。きっと明確に想像できたのは、そしておおよそ、ある程度、その通りに進んで来たのは、今日までです。地元の小学校、地元の中学校に通い、卒業する。もちろん、これまでも、想像できなかったことはあったけど、これからは一つひとつの出来事だけでなく、そのコース自体が、舞台そのものが想像していなかったものになっていきます。

皆さんがどんなコースをどんなペースで走り、私たちにどんな景色を見せてくれるのか、どこに連れて行ってくれるのか、ちょっぴり心配しながらも、最大の応援者として、おおいに楽しみにしています。

途中で転んだり、バテたり、コースを間違えたり、自信を失ってしまうこときっとあるでしょう。そんな時でも、これだけは自信を持ってください。自分を心の底から応援している人がいる。そばにいる。今日は後ろにいる。明日もそばにいる。もし遠く離れることがあっても、心のそばにいる。絶対に1人ではない。自分は愛される存在なんだ。そのことに自信を持って、これからも走り続けてください。そして、休みたい時は自信を持って休んでください。そして、走り直したくなった時は自信を持って走り直してください。

三国丘中学校の先生方、今まで本当にありがとうございました。

走るペースも違えば、コースを外れる子、立ち止まる子もいる、いろんな子どもがいる。親子で一对一でもこんなに大変なのに、これだけたくさんの子と関わっていくのはどれほど大変なことだったでしょう。願わくば、これからもこの子どもたちのよき応援者でありつづけてやってください。三国丘中学校が、彼らにとって、いつでも立ち寄れる給水所のような存在であってくれたなら嬉しいです。そして、彼らの後輩たちのためにも、これからもご活躍くださることを願っています。私たちも地域のおっちゃん、おばちゃんとして、学校の力になればと思います。

保護者の皆さん、本日はおめでとうございます。共に15年余りの苦労を労い合いましょう。そして、間もなくやってくる子育てのラストスパートを共に楽しんでいきましょう。願わくば、我が子に向けるその温かいまなざしを、今ここにいてすべての子どもたちに、そして彼らの後輩たちに、少しずつでも向けて頂ければと思います。そうすれば、このまちは我が子にとってすごく居心地のいいまちになると思います。いつか我が子がこのまちを離れることがあっても、また戻ってきたい故郷になると思います。PTA会長としての心からのお願いです。

最後に、改めて、卒業生の皆さん、本当に、本当におめでとう！皆さんの人生に幸あれ！

令和7年3月14日